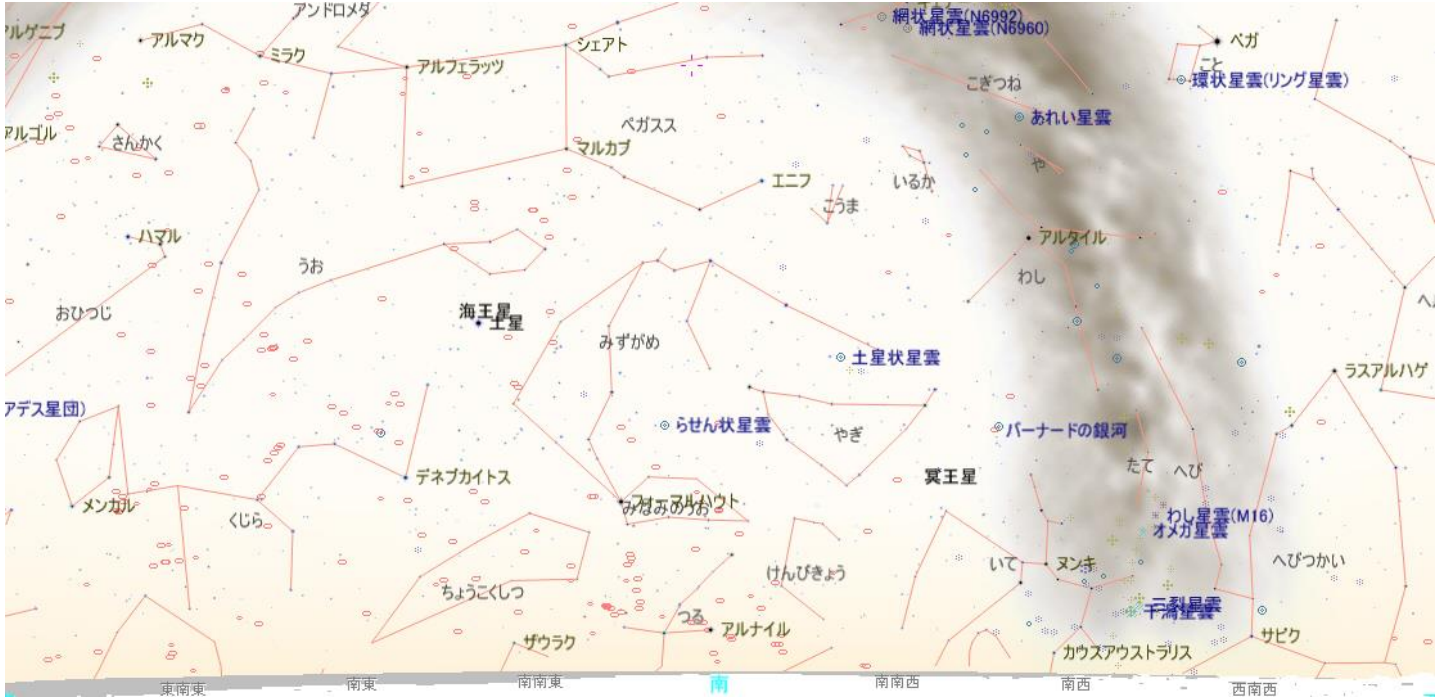


## 10月の夜空



東 南 2025年10月15日 午後 8時00分 西

10月 4日01時38分 : やぎ座 $\delta$ 星食	10月14日03時13分 : 下弦 ◐
10月 6日 : 中秋の名月	10月21日21時25分 : 新月 ●
10月 7日12時48分 : 満月 ○	10月30日01時21分 : 上弦 ◑
10月13日 : <b>スポーツの日</b>	10月30日07時02分 : 水星 東方最大離角



### きらら室根山天文台

★ 住 所 〒029-1201 岩手県一関市室根町折壁室室根山1-146 TEL/FAX 0191-64-3700  
 ★ 休 館 日 火・水曜日 夜間開館 金・土・日曜日 及び 祝祭日当日 と その前日  
 ★ 開館時間 【昼の部】 13:30~17:00(4月~8月) 13:30~16:30(9月~11月) 【夜の部】 19:30~21:30(4月~8月) 19:00~21:30(9月~11月)  
 ★ 入 館 料 大人330円 小・中学生160円 団体(20名様以上) 大人270円 小・中学生130円  
 ☆ 学校の親子行事や子ども会など団体でのご利用の場合は、休館日でもお受けすることがあります。  
 詳しくは、一関市役所室根支所産業建設課(0191-64-3806)まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

## お月見

昔は、照明事情も、社会的行動も、思想も、現代とは違っていたので、現代の人々より、太陽や月や星々を長い時間眺める機会があったことでしょうか。そういう時代の人々が“月”を愛でる方法として考え出したのが“秋”という季節に“満月”を見るというイベントですね。とはいえ、満月とその前後は、天体望遠鏡で見ても月面の起伏を捉えづらいタイミングになるので、天文台はあまりお役に立てません。自分の目で月明かりに照らし出された地上の風景とまん丸の月の姿を楽しみましょう。昔の人々は池や石の窪みに張った水面に映す等工夫も楽しんでたようです。散歩がてらお気に入りの風景を探したり、地図を見ながら眺望を想像するのも楽しいものです。

## 秋の星座

従来、「活動的な夏を過ぎると、どこか寂しさを感じる秋です。」のような表現もよくありましたが、最近は、夏の間、「不要な外出は控えましょう。」という日も多くて、秋の方が活発な傾向でしょうか？星々を見ると以前と変わらず秋の星座の頃は寂しげです。これは、感情によるものではなく、季節の星座の中で一等星が最も少ないとか、季節風がまだ上空を通らないので星々のまたたきが目立たないとか、そのような条件も関係しているかもしれませんね。現在は“土星”が華を添えています。

## アンドロメダ銀河

夜空を見上げて、人間が自分の目で見ている星々のほとんどは恒星（私達の太陽と同種類）で、核融合反応によって光や熱を発しています。人間の視力で認識できる星の距離は、天の川銀河の半径に及んでいない（5万光年未満）と推測されますが、アンドロメダ銀河は200万光年以上離れていても、4等星の天体として肉眼で認識できます。これは銀河が恒星の集合体であるためで、1個の星のみだと認識できない距離になります。遠距離の天体なので、天体望遠鏡を使用しても、目視で見る銀河は写真撮影した銀河程の迫力は感じないのが普通です。

## きらら室根山天文台

- ★ 住 所 〒029-1201 岩手県一関市室根町折壁字室根山1-146 TEL/FAX 0191-64-3700
- ★ 休 館 日 火・水曜日 夜間開館 金・土・日曜日 及び 祝祭日当日
- ★ 開館時間 【昼の部】13:30～17:00(4月～8月) 13:30～16:30(9月～11月) 【夜の部】19:30～21:30(4月～8月) 19:00～21:30(9月～11月)
- ★ 入 館 料 大人330円 小・中学生160円 団体(20名様以上) 大人270円 小・中学生130円
- ☆ 学校の親子行事や子ども会など団体でのご利用の場合は、休館日でもお受けすることがあります。